# 操作（動作）のしかた

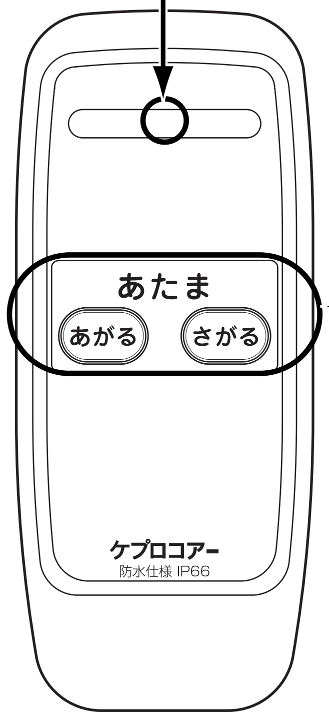
## ●手元スイッチと操作のしかたについて

### ベッドを操作する前に電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。

手元スイッチのボタンでベッドの背ボトムの高さを無段階に調節できます。
ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。

### ●「あたま」（背上げ膝連動）について

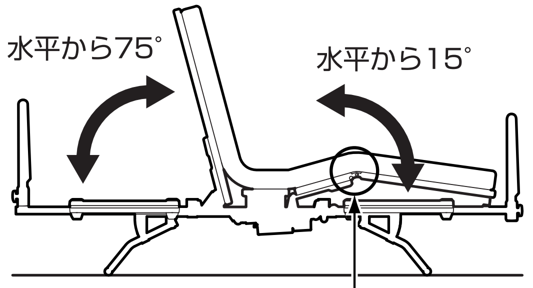
**ランプ**　ボタンを押すと、緑色に点灯します。



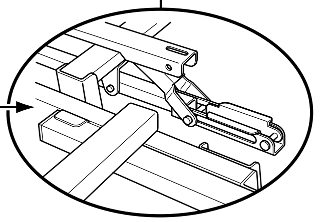

ケプロコアー810手元スイッチ

**背ボトムの上げ下げボタン**
背ボトム（あたま）の角度が調節できます。
膝ボトムが連動して動きます。

●ベッドから起き上がるとき
●ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利




背上げ膝連動切り替えレバーにより背上げのみと連動の切り替えができます。（ケプロコアー820R／830の取扱説明書P12参照)



●背ボトムと膝ボトムが連動し、背ボトム75度、膝ボトム15度まで上がります。
●膝ボトムだけでの角度調節はできません。

### ポイント

●手元スイッチのボタンを押して下記のような症状が起きたら、ケプロコアー820R／830の取扱説明書『故障かな？と思ったら』（P36）を参照して点検して下さい。
＊ランプが点灯しない。
＊背ボトムが動かない。
それでも直らない場合は、販売店にご連絡ください。
●モーターの連続使用時間は6分までです。
6分以上の連続使用は行わないで下さい。次に使用する場合は十分に時間をおいて使用して下さい。

### お願い

●お子さまや操作が理解できないと思われる方がひとりで手元スイッチに触れる可能性がある場合（介護する方の外出時など）には、電源プラグをその都度抜いて誤作動による事故を未然に防いで下さい。

●手元スイッチは防水仕様ですが、むやみに水やジュースをこぼすと、感電、事故、破損の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

警　告

ベッドに乗り降りする場合は乗り降りしやすい高さにベッドを調節し、座ボトムに腰かけてから行ってください。
他のボトムから乗り降りすると、ケガや故障のおそれがあります。特に背ボトム、脚ボトムだけに荷重をかけると大変危険です。

# ケプロコアー810　組み立て説明書

KËPROCORE®

## 必ずお読みください

ケプロコアー810は、1モーター（背上げ膝連動操作）のベッドです。ケプロコアー820R／830とは組み立てかたと操作方法が一部異なりますので、本書とケプロコアー820R／830の取扱説明書を照らし合わせながらベッドの組み立てと操作を行って下さい。また、ご使用の際の注意事項などは、ケプロコアー820R／830の取扱説明書P4～P7の「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

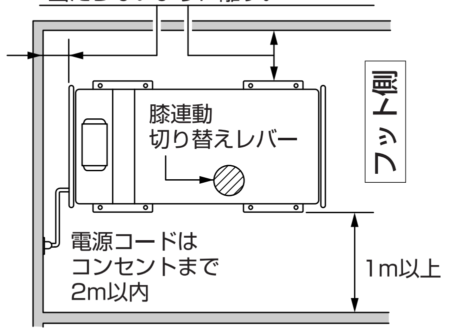
## マルチモジュールの組み合わせについての注意事項

警　告

**●シングル・ロングまたはセミダブル・ロングとは組み合わせない**
事故、破損の原因になります。
脚ボトムまたはフットボードに偏った荷重をかけると転倒する恐れがあります。
絶対にシングル・ロングまたはセミダブル・ロングとは組み合わせないで下さい。

## 設置について

ベッドを設置する際は、以下の条件を考慮して下さい。
●設置スペースを確保する（右図参照）
1.療養されている方がベッドの左右どちら側から乗り降りがしやすいか。
2.介助をするためのスペースがどれだけ必要か。
●平らなゆかを選ぶ
ベッドの電装部分が当たり故障の原因になりますので、必ず平らなゆかの上に設置して下さい。特にボトム高さを「低（230mm）」に合わした場合にご注意ください。
●丈夫なゆかを選ぶ
ベッドの重量は約55.5kg（セミダブル・レギュラー時）です。ベッドの重量と療養される方、オプション製品なども含めた重量が使用時の静荷重となります。この荷重に十分耐えられるゆかの強度を確保して下さい。

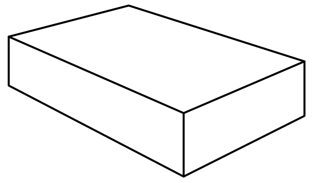



## 開梱と部品の確認

**●組み立てる前に**

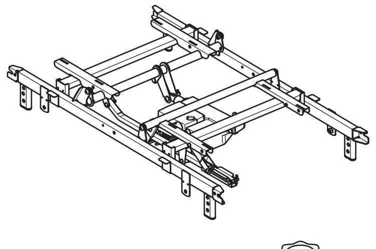
●組み立てる前に、下記の部品などが全てそろっているかどうか確認してください。
●不足している部品や、破損している部品がある場合は、販売店にご連絡ください。

**●マザーユニット**

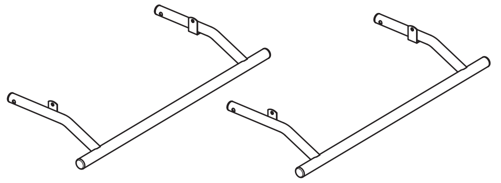


131×70×21（cm）

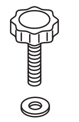
□ マザーユニット



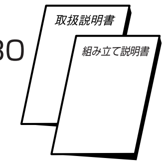
□ 脚パイプ（2本）

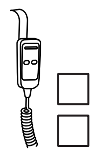


□ ノブボルト（4個）
□ ワッシャー（4個）



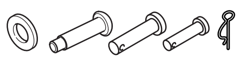
□ ケプロコアー820R／830
取扱説明書（1冊）
□ ケプロコアー810
組み立て説明書（1部）



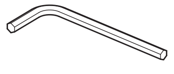



□ 手元スイッチ
□ 電源コード

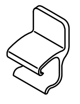
□ 組み立てネジ・ピン一式



□ レンチ

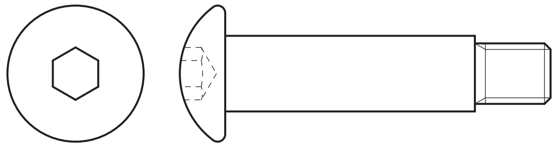


□ マットレス止め（6個）

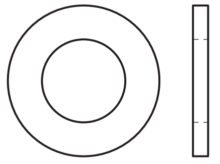


**●組み立てネジ・ピン一式の内訳（原寸図）**

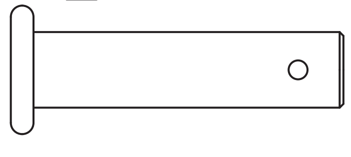
□ ネジA（4本）



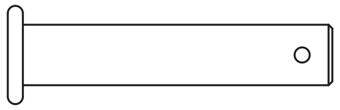
□ ワッシャー（4枚）



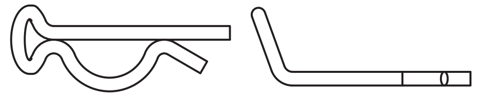
□ ピンD（4本）



□ ピンC（10本）



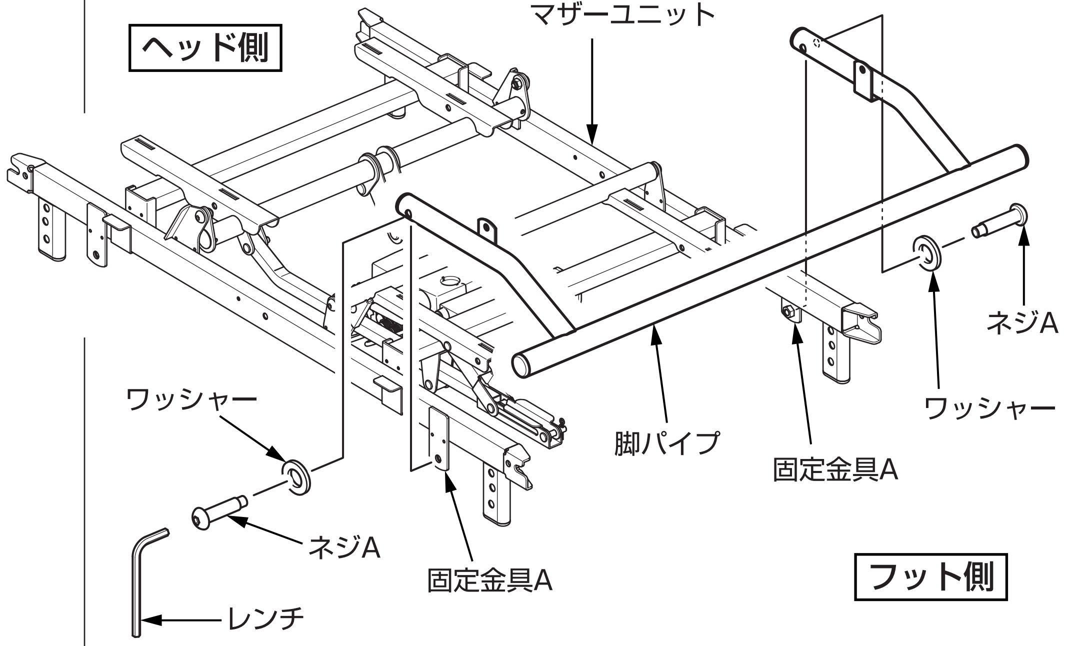
□ スピードピン（14本）



## 1.脚座パイプを取付ける

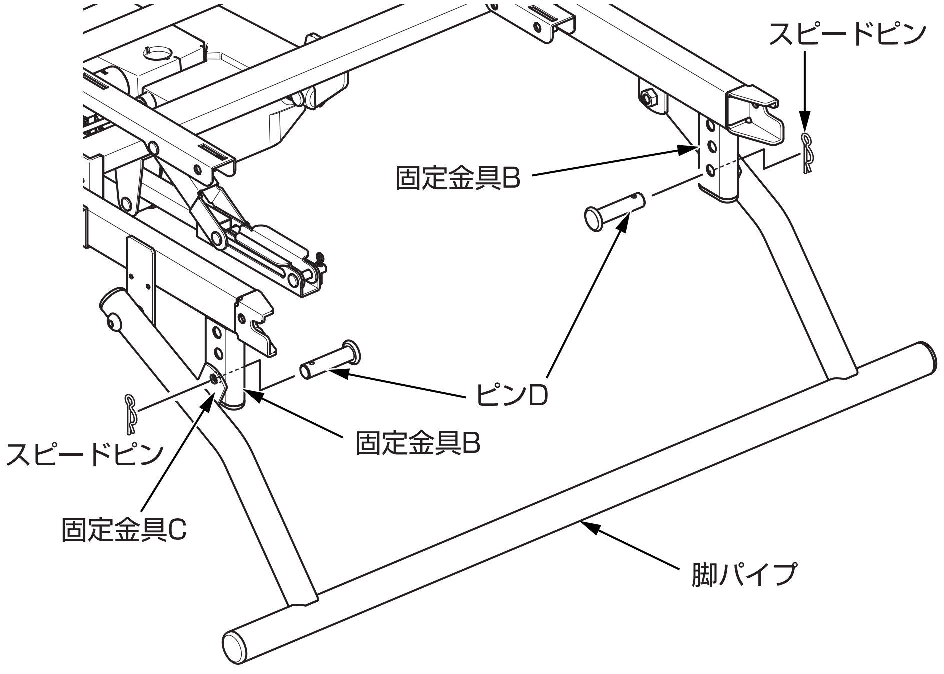
❶ マザーユニットの固定金具Aに脚パイプの穴を合わせます。ワッシャーとネジAを付属のレンチを使用してしっかりと固定します。

（ヘッド側、フット側の両方に固定）
（ネジA固定ケ所 4ケ所）



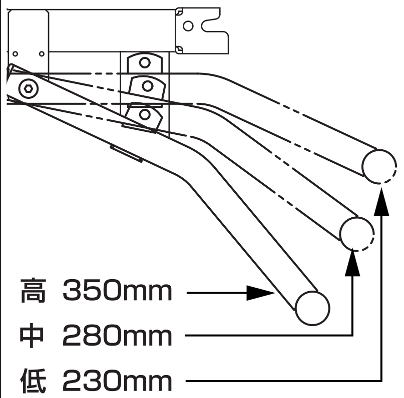

❷ ボトムの高さを左図を参照に決めて下さい。
マザーユニットの固定金具Bと脚パイプの固定金具Cとの穴位置を合わせピンDを差し込み、スピードピンを取付けます。

（ヘッド側、フット側の両方に固定）
（ピンD固定ケ所 4ケ所）



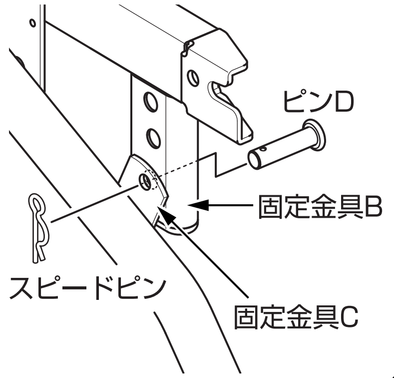

**ポイント**

ボトムの高さと穴位置




**ポイント**

取り付け部分の拡大図






## 2.ベッドの動作を確認する

**チェック**

**この時点で下記の項目を確認して下さい。**

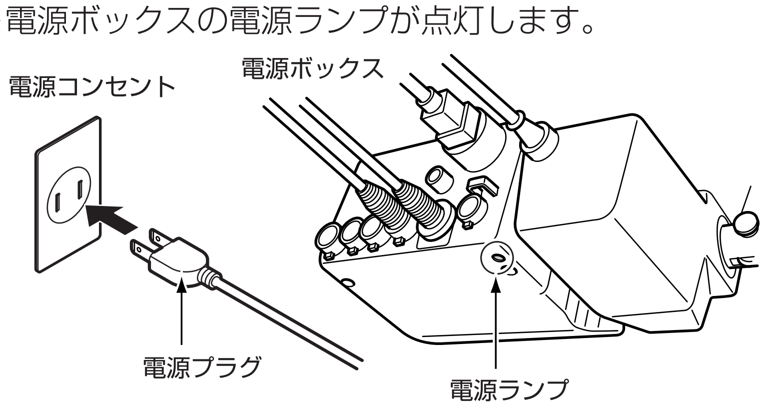
- 電源ボックスの電源ランプは点灯していますか？
- 手元スイッチのボタンを押したとき、手元スイッチのランプは点灯していますか？
- マザーユニットを取り付けたときのピンとスピードピンは確実に差し込まれていますか？
- モーターから異常音がしていませんか？
- 「あたま」がスムーズに作動しますか？

以上の項目を確認して、異常がある場合は、もう一度本書の「マザーユニットの組み立てかた」を最初から見直して下さい。
それでも直らない場合は、組み立てをやめて、電源プラグをコンセントから抜き販売店にご連絡ください。

**ポイント**

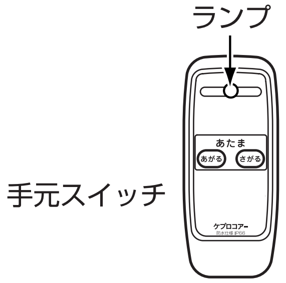
「あたま」は、十分上げた状態にしておくと、組み立てやすくなります。

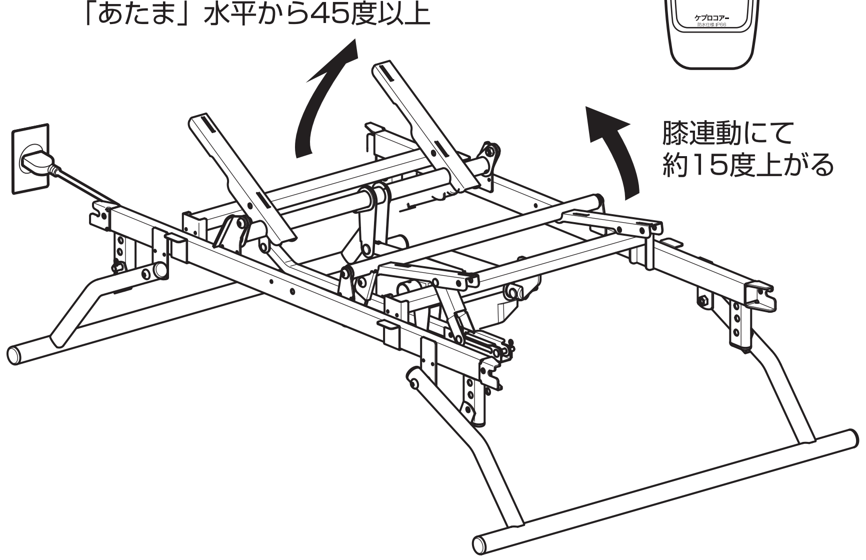
❶ 電源プラグをコンセントに差し込む
※電源ボックスの電源ランプが点灯します。




❷ 手元スイッチの「あたま」あがる・さがるのボタンを押し、正常に作動するか確認する

※手元スイッチのボタンを押している間、手元スイッチのランプが点灯します。




以降の組み立てかたや注意事項はケプロコア－820R／830の取扱説明書を参照して行って下さい。

| | | |
|---|---|---|
| ケプロコア－820R／830と共通の組み立て項目 | 5.座ボトムを取り付ける | P19 |
| | 6.背ボトムを取り付ける | P20 |
| | 7.フロントフレームを取り付ける | P21 |
| | 8.膝ボトム・脚ボトムを取り付ける | P22 |
| | 9.リアフレームを取り付ける | P23 |
| | 10.マットレス止めを取り付ける | P24 |
| | 11.ヘッドフットボードを取り付ける | P25～P26 |